

1. 件名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構原子力科学研究所原子炉施設の保安規定変更認可申請に係るヒアリング（2）

2. 日時：令和5年6月2日（金）13時35分～15時45分

3. 場所：原子力規制庁10階会議卓A（TV会議により実施）

4. 出席者：

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

金子安全規制調整官、伊藤主任安全審査官、島村主任安全審査官

加藤上席安全審査官、加藤試験炉係長

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

原子力科学研究所

臨界ホット試験技術部 臨界技術第1課 マネージャー 他7名

安全・核セキュリティ統括本部

安全管理部 施設保安管理課 マネージャー 他2名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

資料1 STACY（定常臨界実験装置）施設経年変化に関する技術的な評価に係る保安規定変更認可申請について（概要説明資料）

資料2 STACY施設定期評価報告書 その1高経年化に関する評価 記載の拡充案について（修正箇所抜粋）

資料3 施設定期評価対象機器の整理表（設置変更許可申請書との整合性並びに既設/新設区分）

資料4 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構原子力科学研究所原子炉施設保安規定と原子炉設置変更許可申請書との整理表

以上

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい。そうしましたら時間となりましたので、stage保安規定、
0:00:07	長期施設管理方針の追加のヒアリング、第2回にですね、そっち、こちらを始めた と思います。そうしましたら資料に沿って説明の方よろしく願いいたします。
0:00:22	開所しました。よろしく願いいたします。
0:00:43	はい。今、資料を共有いたしました。見えておりますでしょうか。
0:00:49	慶長の加藤で見えております。
0:00:53	はい。本日ご用意した資料は、資料の1から4、4、4種類でございます。まず初め の資料1ですが概要説明資料の、先日の
0:01:07	面談をしていただいた、その時にいただいたコメントを踏まえて申請したものでご ざいます。これの
0:01:16	修正した箇所を中心に説明差し上げたいと思います。
0:01:26	まず初めの、修正した箇所ですけれども、こちら記載の明確化といえますか適正 化を図っております。
0:01:34	停止状態の維持のために原子炉停止後に、
0:01:38	地上隊のおっしゃる操作それから監視不要というふうに記載しておりましたけれど も、その理由を、こちらで補足して
0:01:47	書いております。理由としては安全棒、安全盤、それから挿入されて、 系水が排水されますので、その状態で、特に何もしなくとも、
0:02:00	未臨界状態が維持されるということになっております。
0:02:05	またSTACYの場合には、連帯実験装置ということで非常に出力が低いことから、 崩壊熱の除去を含めまして、冷却の必要はございません。
0:02:16	これを追記しております。
0:02:19	それからこちらあの体制図ですけれども一部、記載の適正化を図っております。
0:02:28	続きましてこの評価フロー、こちら概要説明資料の方に記載がございまして、報告 書の方にも追加するよというコメントいただきまして、それは廃止をいたしま す。
0:02:44	このフローの考え方、なぜこのようなフローにしたのかということ、この右側、
0:02:50	緑マーカーで示しておりますところに、追記をいたしております。
0:02:58	フローはですね私ども原子力艦研究所で他の原子炉施設。
0:03:04	複数の研究者とございますけれども、そちらで高経年化の評価を、今までも行って おります。
0:03:11	これは従前の定期的な評価に関わる、文科省の事務連絡文書に基づく、
0:03:19	それを、これを参考に作成しているものでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:27	それから、この中で、フローの中で補修振り替えが良いかという班、判断をしている上松がございます。
0:03:36	この、
0:03:39	病院か否かの判断をどのように考えたかというところを、こちらに追記いたしました。
0:03:45	STACY以外は、そういった対象として、コンクリートの構造物、
0:03:51	これを抽出しております。
0:03:54	理由といたしましては、局所的な軽微な補修というのはこのコンクリートであっても可能と考えますけれども、中性化によりまして、広範囲に内部が劣化した場合にはですね。
0:04:06	集約理解は困難というふうにいっぺん考えております。
0:04:14	その他の設備につきましては、明日停止、臨界実験装置ですので、もし点検や、
0:04:21	検査をして、必要があればですね、措置をする必要がありましたら、運転をすぐ停止して、対応を。
0:04:32	することが可能です。連続運転をする必要がないというところでございます。次。
0:04:40	ただ溶液燃料貯槽等ですね、
0:04:44	運転をしなくとも、そこに燃料を貯蔵する必要があるという、そういった機器もございます。
0:04:51	はい。溶液燃料貯槽の場合には予備層がございましてそちらに移送して移送した。
0:04:59	後にですね何か不具合が生じた場合には、中東ができると。
0:05:06	いうように考えております。
0:05:18	続きまして、経年変化事象の抽出に係るところ、この緑で緑のマーカで示したところが、地域したところでございます。
0:05:30	設計上考慮されている経年変化事象といたしまして、材料でございます。税を考慮して、経年変化事象を抽出しておりましたけれども、
0:05:41	具体的にはですね、このような金属材料でしたら、中性子の照射の脆化や腐食変形というのは考えられる。
0:05:51	電気式等でありましたら、電気部品の劣化やケーブルの劣化、
0:05:58	先ほどもありました鉄筋コンクリート製でしたら、コンクリート或いは鉄筋の劣化、
0:06:04	振動をもらう機器であれば部品の劣化や摩耗、
0:06:08	私どものSTACYの場合グローブボックスがございます。そういった機器につきましては、変形や部品、これはパッキン類ですとかそのグローブそのものを、
0:06:21	イメージしておりますそういったものもありますので、そういった使用状況を考慮して

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:28	経年変件事象を抽出しております。
0:06:34	こういった使用条件を考慮した上で、試験研究用等原子炉施設の定期的な評価に関する、改造、運用ガイド、それから従前の、
0:06:45	定期的な評価に係る、その仮称のチーム連絡文書。
0:06:51	こちらに記載された事象から抽出しております。
0:06:57	このうち運用ガイドの方には例がいくつか腐食と、例が三つほど書いておりますけれども。
0:07:09	その他これについてやらなくちゃいけないというのは特に書いてないというふうに認識しておりますし、試験炉の場合にはいろいろ施設の特性を考慮して、
0:07:20	事業者が抽出すべきであるということです。書いてあるというふうになんか二つを認識しております。
0:07:31	続きまして、
0:07:35	経年変件事象の抽出のうち、国内外で、事故故障の原因となった経年変件事象が、主などのように調べたかということ、少し記載を拡充いたしました。
0:07:50	これにつきましては報告書にも書いてございます通り、後、(2)国内外で発生したステージ故障の原因となった、経年変件事象。
0:08:01	これをニューシアに登録されている事例から調査をいたしました。次、ここでも先ほどと同様に構造、使用材料使用条件等を考慮して、平日、
0:08:16	調査をいたしております。
0:08:18	結果としてその評価に係る事象がないというふうに判断をいたしておりますけれども、これは、ステージの、類似の施設、
0:08:28	この事例にある施設に類似している施設につきまして、そのステージの使用条件では発生しないでしょう。
0:08:37	または現状の保全活動で予防検知大量等が可能であるということを確認しております。
0:08:47	こちらにいくつか、その調査の例を記載してございますけれども、
0:08:51	例えば旧機関からの火花の発生という事象がございましたけれども、これは原因を見ますと、6年間、点検をしていなかったとかです。そういった、
0:09:04	原因がございまして、私どもの方は後程ご説明しますが、基本的に年に1回の年次点検等で異常がないということを継続して監視しているということで、
0:09:20	今までのですね現状の保全活動で対応が可能というふうに考えております。
0:09:31	それから、これは、こちらのページからは、評価対象機器と、それから経年変件事象の分整理所。
0:09:41	になります。これを前回の面談のコメントを踏まえまして、概要説明資料の方にも、追加させていただきたいと思っております。ここでは1例として、2枚ほど、鈴木。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:56	追記をしておりますけども、これは最終的にはすべての、
0:10:01	今のこの整理表ですね、報告書の方にある整理表を、すべてこちらの概要説明資料に追記したいと考えております。今回はこのような、
0:10:13	イメージでこれから修正をさせていただきますという方針。
0:10:19	これの物を追って見させていただくものでございます。
0:10:31	次のページが、次、経年変理事象の表さ。
0:10:35	井坂のところですよ。
0:10:38	評価結果、この保全活動妥当であると評価するという表のこの言葉だけが書いてありましたけれども、実際にどのようなことを確認していたかといいますと基本的に年に1回の年次点検ぞ抜粋。
0:10:54	ていう、それを確認しております。
0:10:58	点検の中では作動確認や外観確認等し、これは危機に応じて、多少項目が違いますけれども、その中で確認をしております。
0:11:10	それから支持構造物や基礎ボルト等につきましてのコメントをいただいておりますけれども、私どもの場合は外観点検の中で、こういった支持構造物や基礎ボルトの、
0:11:24	変形役員に行くということも含めて、
0:11:27	確認をしております。
0:11:31	特にステージの場合ですと、設置、対象の機器はですね換気空調された環境下で設置。
0:11:41	管理をしております。そういった環境ですのでへん契約書等は。非常に生じる変形腐食等にくい環境にあります。
0:11:57	それからこちらはですね、経年変理事象の中でその保全活動の実績をまとめたものでございます。
0:12:05	その報告書の中にもですねその機器ごとのところに、こういった保全活動をしているというのが書いてございますけれども、それがこの概要説明でですね、わかるように、
0:12:17	こういうふうなものを表を整理しましてまとめる。
0:12:23	まとめて追加しております。
0:12:32	前回のコメントを踏まえましてこの概要説明資料で、
0:12:37	終結扱いいただいた案件は以上でございます。
0:12:42	はい、ありがとうございます。資料1について確認する、すべき項目ありましたらお願いいたします。規制庁の加藤です何点かよろしいですか。
0:12:56	はい。お願いいたします。はい。ちょっと教えていただきたいだけなんですけれども、まずP3 ページ目。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:04	3 ページ目にですね、概要(2)としまして、一番上のマルのところですね、運転開始の起点を 1993 年の 9 月 3 日。
0:13:17	書いてありまして二つ目の丸ですね、使用前検査を合格したのが 1995 年の 5 月 15 日と書かれておりまして、
0:13:26	結構 2 年間っていう期間が長いなと思っているんですけど、この 2 年間の間は何かをしていたかっていうのをちょっと教えていただきたいと思います。
0:13:42	ステージ相澤です。この期間の中ではですね 1995 年の 5 月に使用前検査に最終的に合格をしておりますけれども、
0:13:52	その前の段階でもですね設備の工事等は続いておりまして、できたものから順次、当時の使用前検査を、
0:14:03	受験していたということでございます。ですので工事と使用前検査、
0:14:09	これを受験していたということになります。ありがとうございます。を行った工事の中で一番長期間かかった工事って何になりますか。
0:14:25	石津相澤です。
0:14:27	ちょっとですね不足なんですけれどもやはり下達設置からやっているかと思しますのでそういったさ、戸谷のですね内装工事等、
0:14:39	に期間を要しているのではないかと思います。あと配管類につきましても
0:14:47	何キロ数キロに及ぶような愛犬体感をですね、設置しておりますので、そういったところが北尾義輝だと思います。
0:14:58	これは、
0:15:01	今推測で申し上げましたけれども、ちょっとお調べの方がよろしいでしょうか。
0:15:06	等をちょっと調べていただいて今のですね発言に間違いがなければ今のままでいいんですけど間違いがある場合はまた今後のですねヒアリング等々で説明していただければいいと思います。
0:15:24	はい承知いたしましたちょっと 1 次の週毎検査の成績書等を調べてご報告いたします。はい。
0:15:32	次にですね P5 ページ目。
0:15:40	P55 ページ目のですね二つ目の山根邸、原子炉の停止後の操作及び監視は不要をっていうふうに書かれていて、それで監視は不要っていうふうには書かれていますが、
0:15:55	これ安全番が挿入されたこと、それと水がきちんと抜けたことっていうことを抜けたことについては確認が必要っていう理解でよろしいんですか。
0:16:09	はい。stage間です。その認識の通りですね、原子炉停止、あくまでも停止後の、うん。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:19	操作と監視のことを指しております。わかりましたじゃ安全ボンクンの水が排出されてきちんと停止したねと、それ以降の監視に対しては不要ですっていうことですね。
0:16:32	おっしゃる通りです。わかりました。
0:16:39	越冬
0:17:27	規制庁の加藤です。ちょっと監視は不要のところでもう1点確認をして、させていただきたいんですけど、ここの監視は不要っていう、中には、
0:17:39	モニタリングポストの監修も不要っていうふうな理解でいいんですか。
0:17:52	さ原課結成市の石井ですけど、少々お待ちください。まずステージはモニタリングポストはないんですよ。
0:18:03	ですけどもちょっと少々お待ちください。
0:19:44	すいません原価牽制し石井ですけども、お待たせしました。はい。先ほど申した通り、モニタリングポストはSTACYとしてはありません。あと、一方で排気町のモニタリング設備。
0:19:56	施設から異常の本質がないということについては監視する必要があると、いうふうには考えています。
0:20:05	所長の加藤です。そうするとここで言っている監視の不要っていうのは少し絞られて何かしらの監視は不要っていうことだと思うんですけど。
0:20:18	何に対する監視は不要と考えればいいんですか。
0:20:22	はい。原価牽制CCですけどここはヤバに書いてある、停止状態維持のために原子炉の停止後の操作と原子炉についての監視は不要っていうことですね。
0:20:36	停止していることに対して操作と監視は不要ということですよ。
0:20:45	1点、停止を確認したら不可逆な状態になるので停止状態が維持されているという監視は不要ということですね。
0:20:58	はい。おっしゃる通りその通りです。わかりましたそれともう1点なんですけれど。
0:21:03	ここで言っている、原子炉停止後の操作も不要っていうふうに言っているじゃないですか。
0:21:11	それで逆に言うと、他の炉で言うと、原子炉の停止後の操作っていうのはどういうものがあるって、STACYにおいては、どういう理由からこういうのが不要っていう形になるんですか。
0:21:29	投資駅相沢です。例えば冷却を要するような形の試験のですよ、冷却設備のですね、流量ですとか、
0:21:41	あとはその冠水時というような、
0:21:45	そういった

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:47	ANSIが必要かと思えますけれども、ステージの場合は冷却の必要がないということで、この二つ目のですね、こちらにもそういった意味合いです。入っております。
0:22:00	ごめんなさい。技師長の加藤です。監視は不要っていう方は置いて、停止後の操作の方で、冷却設備の流量って今言ったと思うんですけど。
0:22:13	なん、何かしらその運転状態から停止状態になったときに、冷却設備の操作っていうのがあるんですか。
0:22:22	いえ、STACYではございません。
0:22:25	まず冷却設備そのものがないので、ごめんなさいにステージではないっていうのがわかったんですけど。
0:22:34	他の炉で冷却設備があった後すると、軽視後の操作として、冷却設備の流量を変更するっていう操作があるっていう理解でいいんですか。
0:22:49	立石相田ですすいませんそこまでの意味合いではちょっと申し上げておりませんでした。
0:22:59	あくまでも特にそうですね。感じん関しの観点から今ちょっと申し上げましたので、ちょっと操作につきましては、すみません私どもでは少しわからないところがございますので、
0:23:12	ちょっと確認した上で回答させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。技師長の加藤ですすみません。今日は何かSTACYの現場の方、現場とかを見たことがある方とか参加されていないっていう理解なんですか。
0:23:37	スペシャ伊澤です。今ご質問あったのは他のものではどういう操作が、
0:23:46	もう捨てるんだというような、
0:23:48	ご質問と受けとめたんですが、今もちろんSTACYの文献管理をやってるものはこちらに集まっております。すみません規制庁カネコです。
0:24:01	趣旨を伝えるとですね、今原子炉停止後の操作は要りませんと書いてあるんですけど。
0:24:07	ここで言ってる原子炉停止後の操作っていうのが、高山どういうものなのか、どういうものがいらないと云ってるのかイメージが湧かないので、どういう操作が要らないと云っているのかっていうのをお伝えしなければ、他の炉であれば、当然こういう。
0:24:23	制御棒が動かないような措置をすとかね。
0:24:27	どういう。
0:24:29	調査。
0:24:30	は不要だと言ってるのかイメージが湧かないので何か具体的な例を教えてくださいませんかと言ってるんですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:37	STACY相澤です。ステージではそういった停止状態の維持のために行うべき操作というのは、全くございません。
0:24:47	他の施設ではどういった操作が必要なのかというのがちょっと今即答はできませんので、
0:24:55	下、別途回答させていただきたいという、そういう趣旨で申し上げました。
0:25:03	別府板井氏になりますガス停止では、
0:25:06	停止状態の維持のために何か、流量を変えたりですとか、頑張るを指導で開いたりとか、そういった操作をすることは一切。
0:25:18	ございません。
0:25:20	安全盤の挿入とそれから排水弁の自動開によります海水。
0:25:27	これは特に人の手を介さずに、造作するものですのでに質問をされて、そういった意味でですね停止後の操作は不要というふうに書いてございます。はい、わかりました。
0:25:41	それで、ちょっとですね。
0:26:24	店長カネコです操作の方はわかりました。安心は不要についてですけども。
0:26:30	心はいたしてしまえば、
0:26:34	もう絶対に、
0:26:35	再臨界しないっていう。
0:26:38	そういうことなので、
0:26:43	停止状態維持のための監視は不要ということなんでしょうね。だから、
0:26:47	もう炉のモニターは、
0:26:49	すべて提出してしまっても支障がないっていうそういう理解でいいですか。
0:26:57	はい瀬下相澤ですおっしゃる通りです。未臨界状態が維持されるということはそれから出力が上がることは
0:27:07	全く考えられませんので、その中性子束の出力といったものを勘案する必要もないと。
0:27:16	そういう意味合いでございます。
0:27:19	そうするとこれは停止状態の維持のための監視ではないかもしれないけども、一緒に燃料に何かしら異常があって、査定物が放出される。
0:27:29	ということは、排気塔モニター等でやるので、その原子炉のモニターでは、見ないってそういう理解でいいですか。
0:27:40	岸相澤です。はい、おっしゃる通りです。原子炉の停止状態の維持という点からこのような記載をしてございます。はいわかりました。
0:27:58	加藤ですあと二つほどちょっと確認をさせていただきたいんですけど、全体のですね、ヒアリング、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:10	今回の海上工事を新設している設備、これについては対象外というふうになっているんですけど技術評価書のですね、第 2.1 を、
0:28:21	と整合しているかどうかという確認のために、改造工事の新設する設備すべて挙げてくださってというコメントをしたというふうに考えておまして、
0:28:31	これについては、今後のヒアリングで説明があるという理解でよろしいですか。
0:28:39	期限減衰医師ですけども、それにつきましては資料 3 の方で新設する、説明についてまとめて説明させていただきたいと思います。
0:28:51	規制庁の加藤です。資料 3 の方は許可との整合性に加えて、炉心の改造工事で新設する設備もすべて入っているという理解でいいんですか。
0:29:06	そうですね。はい。
0:29:09	わかりました。
0:29:14	最後の確認なんですけれど、これからの審査会合の資料、結構技術評価書を大分抜粋したものになっていて、
0:29:24	場合によってはですね技術評価書の中から情報を引っ張りながら、審査会合で議論することもあると思います。ですので技術評価書の方も審査会合用の資料参考資料としてですね。
0:29:38	つけるようお願いしたいんですけどよろしいでしょうか。
0:29:45	はい承知いたしました。この概要説明資料の中でもですね評価報告書のどこに事項が書いてあるかっていうのはですね
0:29:56	こいつ。
0:29:57	左下のページのところに書いてございますので、そのようにしていただいて構いません。はい。そしたらよろしく願いいたします。
0:30:10	規制庁金子です今のページ最後にもう 1 個だけ、清酒の原子炉停止の順番としては最初に安全番が入って排水弁による排水ってありますけど、
0:30:21	これは、
0:30:23	仮にですね
0:30:27	安全盤がなくて、排水した場合でもみりん停止できると思うんですけど。
0:30:38	この安全盤の挿入を最初にやるのはどういう理由でしたっけ。
0:30:45	STACY相澤です。挿入してから排水という、そういった、
0:30:51	ロジックではなくてですね、この二つは同時に行われます。はい。
0:30:58	電源が不要だから、その二つが両方来ちゃうから、これどっちが片方が、毎日作動しなくても、停止はできるんですしたっけ。
0:31:08	はい、おっしゃる通りです。いずれか一方で、定修いたします。
0:31:15	そうするとね、どっちが入らなかった場合は、
0:31:19	停止状態維持のための監視が必要になってきます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:28	アの原価現世CCですけども、どちらか入らなかった場合は停止状態の監視が必要になる。
0:31:35	ご質問でしたようにどちらか一方入ったことが確認できればもう停止は確認できますんで、どちらか一方が入ったことを確認すれば定修は確認できます。
0:31:48	うん。例えば安全番が入りません。
0:31:54	はい。
0:31:55	違うわ。あれ、安全番は入らない。
0:32:00	その水が出るんだな。
0:32:03	水が出ない。
0:32:06	水が出ない何千枚。
0:32:08	排水がされないで安全版が挿入された状態でも、マニュアル上は、
0:32:16	停止後の操作や監視はしない、する必要ないとそういう理解でいいんですよね。
0:32:24	はいマニュアル、今の坂規定では当然安全が入ったことと、排水されたことが停止の条件なんですけども。
0:32:35	今排水されないというのが、
0:32:39	どういうモードがあるかっていうのを考えると、基本的にはそのフェイルセーフになってますんで、電源とか喪失された場合は排水弁が必ず開きますんで、必ず排水されるというふうにはなってます。
0:32:54	排水されないってのはもう想定してないってことですね。
0:32:59	はい基本的な設計書は全部フェイルセーフになってますんでは、必ず水は排水されるし、安全は必ず重力落下で落下するというものになっています。わかりました。
0:33:13	設計基準事故なんかに排水がされないとか安全盤が挿入されないっていう想定は、確立上想定しなくていいことになってますね。
0:33:25	そうですそういうことでは了解了解わかりましたありがとうございます。ありがとうございます。
0:33:32	1 後ですごめんなさいちょっと安全番の挿入にかかる時間と、KCが完全に排水するまでの時間で大雨でいいので教えてもらえますか。
0:33:46	安全番は 1.5 秒以内に落下します。軽水が前線全量排水されるのは、
0:33:57	数分アップなんか。ちょっと待ってください。ちょっと調べればわかるんで、このヒアリング中に回答します。はい。よろしくお願いいたします。
0:34:09	資料 1 についてはよろしいですか。はい。そうしましたら次の資料の説明の方よろしくよろしくお願いいたします。
0:34:21	承知いたしました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:30	今共有させていただいております。資料の2は評価報告書STACYのその高経年化に関する評価報告書の
0:34:40	記載の拡充案について抜粋してですね、報告書の抜粋を2枚ほど示したものでございます。
0:34:50	概要説明資料で書いたようなことを報告書に、
0:34:55	中するということは承っておりますけれども、その中で幾つかちょっと更新を確認させていただきたい点がございましてこちらの資料を、
0:35:06	整理いたしました。
0:35:08	まず先ほどの
0:35:10	概要資料の中にもございましたけれども、この、
0:35:14	国内外でのその地区故障の原因となった経年変化事象、こちらの記載を拡充するイメージといたしまして、こちらに、
0:35:24	黄色いマーカーで示しております。その調査の対象例、先ほどの概要説明資料にも付けておりますけれども、こういった形で、追記をさせていただきたいと。
0:35:37	考えております。これは1例でして、もう少しこの後、記載を追加させていきたいと思っておりますけれども、こういったスタイルで、
0:35:47	考えてございます。
0:35:49	それから次のページは保全活動の、
0:35:55	実施について。
0:35:57	もう少し情報を拡充するようというご指示ございました。
0:36:03	す。
0:36:06	これはですね放管設備と、その下は特定施設の旧記載に、
0:36:14	例を二つ示しておりますけれども。
0:36:17	経年変化事象は、この設備、ごとにですね、こういったものがあるかというのを、まず書いてございましたので
0:36:28	劣化をですねフォローするためにどのような点検、或いは検査をしているというのを、
0:36:35	地域させていただきまして、さらにその、
0:36:39	点検の頻度の情報を、このような形で見れる。
0:36:44	イメージで考えてございます。
0:36:48	こちら、
0:36:50	廃棄物、液体廃棄物の記載ですけども、このような同じようにですね、
0:36:57	考慮すべき経年変化としては挙げた上でそれをフォローするためにどのような点検をして健全性を確認しているか。
0:37:07	そしてその頻度はどうかということを追記しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:11	これはすべてのこの設備の項目につきまして、別にさせていただきたいと思いますけれども、申し訳ございません、今日は間に合いませんでしたので1例としてお示しするものでございます。
0:37:25	資料につきましても、ご説明は以上です。
0:37:29	はい、ありがとうございます。何かございますか。
0:37:34	規制庁の加藤です。ですね今こういう記載でいいよっていうつもりはないんですけど、まずですね1ページ目のところで言うのであれば、
0:37:47	もうちょっと下ですね。
0:37:49	今回の調査した例としてこれが上がっていますっていうふうになっているんですけど、このですね原子力施設情報公開ライブラリーの中で、
0:38:00	どういうふう調査をしたら、これらの事例が出てきて、その内容をどのように確認したから、経年変化のステージに係る経年変化事象がないっていう、
0:38:12	その一連の流れがわかるような形でまず記載をしていただきたいというふうを考えています。それとあと保守点検の方次のページですね、次のページのところで、点検の頻度については書かれていて、
0:38:27	今やってる頻度がこれが、これで正しいのであればここはいいのかもしれないんですけどそれに加えてですね、例えばこの放射線管理の方ですと、建設きい値が譴責及び電気部品の交換を実施しているというふうになっていて、
0:38:43	その交換の実績、そういうのも記載してもらいたいというふうを考えています。
0:38:50	こちらからはとりあえず以上にする。
0:38:55	ステーション相澤です。承知いたしました。まず一つ目の、
0:39:01	こちらですね、経年変化事象につきましてはもう少し記載可能。
0:39:07	判断の、
0:39:10	判断ですとか英語手法ですね、それを隠しちゃいる入れさせていただきたいと思えます。具体的にはこの入試ライブラリーではですねその事例を検索することができます、その中で経年劣化、
0:39:27	ですとかの摩耗とかですねそういったことを、
0:39:33	危機対策の条件として入れまして、それで出てきた事例について中身を、
0:39:41	続きまして、どういう原因でどういった事象が起こったか、それをSTACYの例に当てはめまして、タイ類似の施設があるかどうか、あるのであれば、
0:39:56	それがステージ2、
0:39:59	でも起こり得るのかどうか。
0:40:02	結論としてはそれがなかったわけですけども、あればそういったことを書くつもりで調査をいたしておりました。
0:40:13	それから二つ目ですけども、部品交換につきましてはさ、先ほど

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:20	概要説明資料のところ、一部、バッテリーの交換ですとか、
0:40:26	タービンのスターター失礼しましたの。
0:40:29	PGのスターターの交換。
0:40:31	など、そういったところはですね大物は会計でございます。
0:40:37	今言った検出器等については、消耗品のような扱いと考えておまして、
0:40:47	そういった商品はですね特に、
0:40:53	交換期限が決まっているというわけではなくてですねその点検校正しつつ検査をした上で必要に応じてということですので、
0:41:05	それらをすべてちょっと
0:41:08	この報告書の方にですね、上げるというのはちょっと困難でございます。大野につきましては先ほど、改定案が決まった通りですね、この報告書の中にすでに、
0:41:22	入っているものもございます。
0:41:41	は、
0:41:42	市場の加藤ですすいません。記録とかがないってことを言われてるってことですか。
0:42:30	規制庁の加藤ですが、記録がないってことを言いたいってことでしょうか。
0:42:53	一応、諏訪伊沢です。先ほどの整理表にまとめたもの、これは明確に記録が残ってるんですけども。
0:43:04	それ以外の消耗品のような扱いのものはすべて記録が残ってるかといいますと、
0:43:13	部長通す、今は即答できないんですが、おそらく残っていないと。
0:43:21	いうふうに考えております。
0:43:24	次長の加藤です。ちょっとですねそこは用確認で今後入れるかどうかというのを検討してくださいなかったらなんかこういう管理をしているので記録ないですっていうことでもいいかもしれませんがまず
0:43:37	事実関係を確認の方をよろしくお願いいたします。施設間で承知いたしました。
0:43:45	はい。資料2については以上にしたいと思いますがいかがですかよろしいですかね。はい。そうしましたら資料3の説明の方よろしくお願ひします。
0:43:58	はい。そうです。ただ原価減衰石井ですけども資料3について説明させていただきます。こちら資料3については今回施設定期評価の対象機器。
0:44:09	まずは設置許可申請書との整合性という観点で一つであともう一つは既設新設の区分が正しいのかというところで資料を整理したのになります。
0:44:21	左側に重要度クラスAとBの10分の重要度クラスを書いてます。その隣ノーリツに設置変更許可申請書の添付書類8で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:33	安全機能の重要度分類の表がございますのでその機器を順番に変えているというものになってます。その右側に施設定期評価の報告書の機器を並べたものになってます。
0:44:46	まず施設定期報告書の記載は設置許可申請書との対応がわかるようには並び替えてますので、報告書の順番通りにはなっていないというものになっております。
0:44:58	報告書の原本とその右側に設工認申請書のところで既設新設の区分を確認したと、こういうものになってございます。資料の構成とかまとめ方はそのようなものになってます。
0:45:13	上の方から見ていきますと1ページ目のPS2の中では設置許可申請書等を整合しておりまして、一つ、監視操作盤ですなこちらに
0:45:24	*ってございますけどこちらは設置許可申請書の中にはメインに出てこないものになっております。評価報告書の中ではただ、監視操作盤というのはこの、
0:45:35	計測制御系統施設、給水停止スイッチや給配水系の主要弁、こういったものの操作を行うものですので、PSに分類して経年劣化の評価を行っているというものになっております。
0:45:51	続いてMs2についてはご覧いただいた通り基本的には設置許可申請書と整合しているというものになってございます。
0:46:01	その下からがPS3、昨年度別貯蔵設備になりますが、
0:46:06	設置許可申請書の中では単に核燃料物質同設備というところで記載しておりますが実際にはいくつか貯蔵設備の種類がございますので、
0:46:17	出席報告書の中では細かく分類して評価を実施していると、こういうものになります。
0:46:24	めくっていただいて2ページ目になります。こちら各委員長の加藤です。すみません共有している資料下に下げつつ説明してもらってもよろしいですか。はい。申し訳ないです。はい。
0:46:38	2ページ目につきまして核燃料部長の説明の続きであと液体廃棄物の廃棄設備になります。あと固体廃棄物の廃棄設備。
0:46:51	あと、質疑に実験設備というところがありまして、ここに実験設備、いくつか挙げてるんですが、先ほどごめんなさいすべてここで挙げていると言ったんですがちょっとここは代表例を挙げておりまして、
0:47:06	可動装荷物駆動装置というのが記載が今ありませんので、ちょっとここには可動装荷物駆動装置というものを追加させていただきたいと思っておりますいずれにしても新設で、
0:47:19	今回の施設定期報告書の対象外というものになります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:25	で、続いて工場燃料についてはウラン棒状燃料等中性子毒物の添加棒状燃料があるということです。続いて起動中性子減も同じで核計装設備支援速制御系というのを、
0:47:41	評価報告書と同じになります。ずっと起きてですねあと違うところがですね、3ページの上から3分の1のところインターロック版というものがございます。
0:47:55	こちらでも許可申請書にはメインに書いてないんですけども精神の反応度制御階を回路を内蔵している盤がございまして、
0:48:06	こういったものも提供化の対象に、対象にしているというものでございます。
0:48:12	続いてはずっといくとあと基本的には許可申請書と太田、同じ大量になってございます。
0:48:22	4ページに行きまして近藤MSさんの4ページの真ん中ぐらいにLOCA室長6月Sというのが設置許可申請書にございます。
0:48:34	定期評価報告書の中では6月Sというものは徳田市では書いてないんですけどもこちらについては、実験棟Aクワカワ施設は実験棟への地下1階部分にある提案がありますんで、こちらの中でコンクリートの劣化評価とかをあわせて行っているというものになってございます。
0:48:54	はい。あとずっと下の方いきまして5ページになりますけれども5ページの方も概ね整合しております一つですね下から3行目に安全スイッチと。
0:49:05	いうものがございます。こちらについては定期報告書の中では安全保護回路というものを評価対象にしております安全スイッチはこの安全北海道の検出さんでありますんで安全部会の中で同時に実施していると。
0:49:22	いうものになって
0:49:26	おります。
0:49:27	資料3の説明はこれであと右側に新設既設の区分書いてございますが、
0:49:35	先ほど説明申し上げた通り施設定期評価の中で米印よって黄色のマーカーで塗りつぶしたのについては、設工認申請書の中で新設になっているというものを確認してございます。
0:49:50	先ほど申し上げた通り実験設備ではどう層厚物駆動装置というのがちょっと一応記載がありませんでしたのでこちらは記載を追加させていただきたいというふうに考えております。
0:50:02	説明は以上になります。
0:50:05	はい、ありがとうございます。資料3について何かございますでしょうか。
0:50:12	規制庁の加藤です。この表の右から2番目のところの見方なんですけれど、第3回の設工認の申請で新設したものがバーになっていてこの場っていうのが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:29	つまりは黄色の塗りつぶしで今回の技術評価書の対象該当なるもので0っていうふうに書かれているのはもう記述になっていて、
0:50:41	そこっていうものは、今回の評価対象になるそういう理解でよろしいですか。
0:50:46	はい。市、ご理解の通りです。少し補足しますと第3回の中で、一応今後STACYがこれから新設するものも含めて、
0:50:59	整理表にまとめてますんで第3回だけで新設するといったものに限ったものではありません。ちょっとわかりにくいかもしれないんですけど、実際ですね先ほどの実験設備もですね。
0:51:12	2ページ目の実験設備、いいですがデブリ構造材も一体ですとか燃料試料挿入か内挿管、こういった実験設備は設工認第3回の中で申請しているものではございません。
0:51:27	ただ、stageの第三課の中で整理表というものをしております、既設のもの親切なものという区分を第三課の中で行ってますんで、
0:51:37	この設工認申請書の第3回で既設新設を区分しているという意味になります。
0:51:46	はい、ありがとうございます。そうですか。すいません今の補足大変重要だと思っております。私の今までの議会はこの第3回での申請地へ申請しているですね。
0:51:59	炉心改造の工事で新設するものは除くって理解をしていました。それで今一井さんからのご説明は、まだ設工認上申請していなくて今後、
0:52:13	申請するもの、第3回の整理表で整理をしていて、今後新設するものに対しても評価評価対象外にしてるんですよっていうふうに理解したんですけど。
0:52:24	その理解は正しいんですか。そういう意味でちょっとわかりにくかったですけどそういう理解です。例えばこの2ページの下から3行目の中性子毒物添加工場燃料でちょっとそういうですね、
0:52:39	統合というのはまだ設工認申請もしていないものになり、なりますけどもこういったものも評価対象の表には一応入れてですね、今後新設するものなので評価対象外というところでそういう言い方をしているということになります。
0:52:54	所長加藤ですわかりました。ですね今言った旨が、注釈とかでもいい、いいのでわかるような、資料3にさせていただきますか。
0:53:07	はいわかりましたありがとうございます。そのように修正します。あと1件確認なんですけれど、例えばですね、新規性の分割申請の中で浸漬した。
0:53:22	ていうか
0:53:23	今回の要するにをしてこの資料で言う新設っていうものは、第3回で申請した設備と、後に申請の、
0:53:35	設備という理解でいいですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:38	例えばその例えば分割申請を、ちょっと適当に言いますけど、第1回申請ですね、新設しているものとかも含んでいるっていうふうに理解すればいいのか。
0:53:50	それとも第3回プラス未申請の設備が、ここで言う新設っていう整理になっているっていうことなのか。
0:53:59	どちらでいや、全然車ですね第3回の他にもすでに新設で設工認申請してるものがございまして、第3回とその他の分割申請の一部、
0:54:13	さらには新規性基準じゃなくてまさに今、審査していただいているデブリ構造物森田伊東の設工認もありますし、今後、新規に申請するものもあると。
0:54:27	そういうところで、はい。ちょっとそういう分類になります。なるほどそうすると、多分今、この表で言うですね、右から2番目のSTACY第三課における、
0:54:40	既設新設区分っていうふうには書くよりはこの第3回で整理をしているその整理表を基に記載しているっていうのが正しくて、そうですね、はい。そこをよくちょっとわかるような形にしてもらえますかね。
0:54:55	承知しました。はい。ありがとうございます。はい。
0:55:02	話です。
0:55:06	はい。この資料で何かございますか。よろしいですか。はい。そうでしたら資料4の説明の方よろしく願います。
0:55:15	はい。それでは続きまして、減額編成した資料4説明させていただきます。こちらは設置許可申請書との整理表ということで前回のヒアリングで先に申請されている加工施設で同様な資料があるのでそちらを参考にということで、
0:55:34	作成したものになります。開いていただいて、1ページ目になりますが左側に原子炉の施設の保安規定ということで原研の第10編精神の管理のところを記載してございます。
0:55:50	真ん中に許可申請書の本文、右側に添付書類という構成になってございます。
0:55:57	すいません。よろしいでしょうか。
0:56:01	はい。これ許可との整合性を整理していただいた資料だというふうに理解をしております、こちらはですねこちらの方で確認しておきますので、
0:56:13	説明は割愛していただいてもいいと思います。
0:56:18	わかりました。はい。ありがとうございます。いえ。こちらこそありがとうございます。はい。
0:56:23	とりあえずここまでか、前回ヒアリングでやったコメントの回答だというふうに理解をしておりますね、今日はその他にですね、ちょっとSTACYの今回の技術評価を行った際の、
0:56:40	評価フローについてですね、ちょっといろいろ確認をしていきたいというふうに考えています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:48	それですね、この評価フロー、この資料の右上に隠れている通りですね、文科省の事務連絡文書に基づいて、そのフローを作っているというのが理解しているんですが。
0:57:03	今うちの試験のですね定期評価のガイドによると、あくまで文科省時代の事務連絡文書は今後用いないという、整理となっています。
0:57:17	それで、ちょっとですね、いろいろ確認をしたいと思っているのか、実用炉のですね、高経年の審査ガイドに書いてあるリスク分を基に、
0:57:33	これらの分に係る要素を、について、STACYYにおいてはどこまでやってるかっていうのを一つ一つ確認をしたいというふうに思っております、ちょっとですね私の方で資料共有しますので、一体決算のそういうお聞きしてもよろしいですか。
0:57:52	最初しました。
0:57:58	冒頭の趣旨もちょっとわかりました。
0:58:28	えとですね先ほども述べた通りこれが実用発電用原子炉の高経年化対策の審査ガイドというふうになっています。
0:58:38	先ほども述べたように、試験炉の審査ガイドにおいてはですね、評価フローは載っていないで、それらの審査においてどういう視点で見るかっていう詳しいことを書かれていません。
0:58:51	ですので、そういう視点等書かれているですね、まずこの実用炉の審査ガイド、ここにおいてはですね評価フローもまず書かれておまして、
0:59:08	ちょっと見づらいんですけどここはちょっと後で見やすい資料を見せますが、このような一つ一つ細かい要素が書かれている評価フローがあります。
0:59:20	これがですね全部の丸で、
0:59:24	ここまでが 22 になっているんですけど、2324 まであって、それで、これらの一つ一つの①から④については、前段の方ですね。
0:59:40	例えば、
0:59:47	例えば④のですね、消耗品定期取替への抽出っていうものに対しては、
0:59:57	どういう審査を行うのか。
1:00:03	それと、どういう視点と着眼点で、地点と着眼点はどういうものがあるのかっていうのが書かれていきますと、
1:00:15	それで、先ほどもう延びたように、実用炉の審査ガイド、
1:00:22	J、
1:00:30	これ先ほどの実用炉の審査ガイドの評価フローになっておまして、
1:00:38	それちょっと文字がつぶれちゃっているのですね、見えないので、そこに書かれている内容を、この赤字で補足しているっていう状況となっています。ですのでこの赤字の部分については先ほど大津結果、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:54	22までがあって2324っていう形にあると。それで、今から確認したい項目についてはですね、STACYで今回やっている技術評価の技術評価において、
1:01:09	この一つ一つに対して実施しているか否かというのを確認をしていきたいというふうに考えています。
1:01:19	これを一つ一つですねまずやってるのをやってないのっていう整理をしたいと。
1:01:26	とりあえず今からやりたい。
1:01:29	規制庁金子です。今から加藤が作業したいと言っている背景をもうちょっと詳しく説明します。先ほど加藤からありましたように、このSTACYの評価フロー。
1:01:42	これが妥当であるかどうかというその拠り所が一細かいのが死んじゃってるのでね、ない状態です。昔をやってたっていう、過去やってたからってそれだけになっていて、
1:01:53	じゃあ何をもって妥当だっていう判断をしようかなといろいろ試行錯誤してるんですけども、一つの拠り所としては軽水炉でやってるやり方があるよ。
1:02:03	で、必ずしもこの係数のやり方と同じであるから良しとそういうことでもないはずなんですよね。なので、検討するにあたっての一つの参考材料として、軽水炉と比較して、
1:02:17	どの辺が違うのかね。同じことをどのくらいまでやってんのかねっていうのをちょっと、検討の材料として、知りたいということで今から一つ一つ、これ表現は違うけどstageでも同じことやってますよ。
1:02:31	これは製紙でやってないですねえとかっていうのを、ざっくばらんという言い方はあれかもしれませんが、教えていただけないでしょうかということですので、これと同じことをやらされるのかっていうちょっと構えないでいただけないいただきたいということをまず冒頭に申し上げます。
1:02:48	はい。現在発生してます。はい確認の趣旨は性質です。よろしくお願いたします。はい。そうしましたらですねまず一つ目からいきたいと思いますが、
1:03:02	まず①として、高経年化技術評価の実施体制の確立っていうのがありまして、ちょっとガイドをちょっと①のところを見ますと、
1:03:23	ここです。
1:03:28	この部分になっています。
1:03:31	それでまず審査する内容は上に書いてあって試験客案件がこのような形で書いてあります。ちょっと見ていただいて、
1:03:41	今回の評価にあたって、こういう実施体制や実施基準の確立っていうことをやっているかというのを、
1:03:52	確認していきたいと思っておりますこの部分については行っていますか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:23	当スペース相澤です。まずその体制のところですけども技術評価をするということとは保安規定の方ですすでに定められておまして、
1:04:35	その保安規定に定められていることは当然その、
1:04:39	坂木谷定められた体制のもとでやると。
1:04:43	誰が承認し誰が、
1:04:46	評価するといったようなところは決めてございます。
1:04:52	それから計画的に実施しているか、或いはその要領といったところでは
1:04:59	この評価の実施にあたって、この評価の実施計画というのを、
1:05:05	その法で定めて、それに基づいて、
1:05:10	実施をしております。
1:05:13	その2点は今即答でき、可能です。
1:05:20	少々お待ちください。
1:06:47	ちょっと資料一旦共有を切りますので少々お待ちください。
1:06:53	はい承知いたしました。
1:09:36	規制庁の加藤です。ちょっとよろしいでしょうか。ちょっと何か包括的に説明があったと思いますので1個1個確認をしていきたいと思います。
1:09:49	まずこの部分ですね。
1:09:53	この本格本気に基づいて品質、前のシステムに従って高経年化技術評価の各過程において実施体制を構築しているっていうことは、ここはやっておりますか。
1:10:12	少々お待ちください。はい。
1:10:53	結成費ですけど、こちらについては我々やってるといふふうに理解はしています。はい。
1:11:03	次に5、この実施手順を確立していることここについてはいかがですか。
1:11:14	計画そうです。
1:11:15	はい。こちらについては計画書で明確にしますんで確立してるというふうにいえると思います。はい。そしたら次ですね。
1:11:25	これですね。
1:11:31	これいかがですか。
1:11:42	作業所長。はいこちらについては評価の要領書というのはないんですけども計画書の中でどういう手順で評価すると。
1:11:54	いうのは定めますんで計画書で随分説明できる内容かとは思いますが。
1:12:01	堀。
1:12:13	次に伊井支店着眼点の方に行きたいと思います。
1:12:23	OKの実施体制の確立って言ったけども、それは、この414209に従ったものなのかっていう感じ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:31	ついでに加藤です先ほどですね品質マネジメントシステムに従ってやっているって いうことなんですけれど、ここで書かれているですね、自白ヨンイチイチ 4209 に則 った、
1:12:45	実施体制でやっているかっていうことなんですけれどここについてはいかがです か。
1:12:52	ちょっと一つお待ちください。はい。
1:13:16	厳正しですけどもう 19-411 は基本的な原子力施設の納品書規定なんで原研 もこれにはのっとったものになりますけども、
1:13:29	メインに⑨はちょっと確認しないと、今即答はちょっとできない状況です申し訳ない です。
1:13:37	はい。ヨンイチイチは乗っ取っているんですけど 4 に出るかはちょっとまだ後で確 認して連絡が来るというふうな形で理解をしました。
1:13:52	それで 123 時。
1:13:54	はい。次ローマ数字の 1 ですね。
1:13:58	これはどうですか。
1:14:05	丸藤岡君。
1:14:08	そうですね。ここまでの内容については 0 ですよ。それでちょっと口とかで言ったら 少し補足をしておいてもらって、
1:14:44	はい、原価牽制費ですけども、私の認識では文書体系整備というところまでは行 ってないかなと思うんですけど。
1:14:56	金消化から何か補足ありますか。
1:15:13	原価減品質保証課の上川ですけども。
1:15:17	この点に関しましてちょっと、
1:15:21	国井させてください後程回答させてください。お願いします。
1:15:28	はい。そうしましたら 1 につきましては後で回答わかりました。次の数字の 2 の方 に行きたいと思います。高経年化技術の地震に係わる協力企業も含めた体制を 整備しているか。
1:15:39	いかがですか。
1:16:00	はい原価県政 CC ですけどもこちらについては我々原価県の場合はそれぞれセン ター
1:16:12	保守管理を担当している課で評価しておりますんで、特に協力事業者を含めた体 制というものにはなっていません。
1:16:22	副主担当の場で評価が十分度というものです。
1:16:27	はい、わかりましたありがとうございます。規制庁兼子です。ここまで幾つか確認さ せていただいて、もし可能であれば、もう、いきなりで申し訳ないんですけど。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:37	こういった形で1個1個ちょっと確認をしてですね、どの辺まで、
1:16:43	軽水炉等に多様な形なのかなっていうあたりをつけたいと思ってたんですけども、もし、こんないきなり言われたってわからんよっていうことであれば、
1:16:53	ちょっと確認の仕方をですね変えたいと思っています。趣旨としては当たりをつけるのでつけるということなので、正確性はさほど求めていません。
1:17:05	まず一旦、皆さんの経験とその知見を踏まえてざっと確認をして今回答えていただいでですね、本当にそうかどうかというのは、後日正確なところをいただくっていうことでも構わないんです。繰り返しになりますけど。
1:17:21	どのくらい似てるのか、全く非なるものなのかっていうのをちょっと当たりをつけたいものなので、多少強引でもですね所見で合ってますだっませんってちょっと確信をしてるんですけど、にしてもそれちょっと強引だわということであれば、今もして申し上げていただくと。
1:17:38	ちょっとやり方変えますがいかがでしょうか。
1:17:42	ちょっと正確性が足りないかもしれないとちょっと感覚的に絶対ですけど。
1:17:50	はい。ちょっと整合性というか、聞きますとですね。
1:17:56	まず次のローマ数字3業務を成功するために十分な能力を有しているかと、いうことについてはこちらは我々評価して力量評価して評価してますので、これはやってるというふうに思います。はい、了解。
1:18:14	はい。ローマ数字の4についても、これも最新の運転経験知見等を反映してやってるということで、ちょっとこの随時整備しというところが
1:18:28	ちょっと足りないかなというところありますけども概ねやってるというふうに理解しております。
1:18:33	続いて5個、5月に5こちらは計画を定めてそれに従って評価してますんで実施していると思っております。
1:18:44	どうぞ医長。はい。次に②の方をお願いいたします。今のような感じでどんどんやっていただけると非常に助かります正確性は二の次ということで結構ですのでお願いします。それとですねここお話フォローしますここ発言原子炉の運転状態を前提としてるっていうふうになっていて、
1:19:03	実施ガイドの0.108っていうふうなところなんですけれど、ここに書かれているのはですね冷温停止状態での評価なのかそれとも運転状態での評価なのかその両方なのかっていうのを、
1:19:17	きちんと最初に明言してくださいっていうことを、加来浦になっていて、ステージにおいてはですねもう新規制の審査も終わっても運転状態に今後入っていくので、運転状態を前提とした評価になっているっていうことで評価をしているっていうふうに理解しているんですけどそれでよろしいですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:40	はい通りで間違いありません。大丈夫です。うん。そうすると②は特に必要ないと思いますので③に行きたいと思います。
1:19:51	はい。
1:19:52	③については重要度分類プラスワンⅡⅢ該当する基金。
1:19:59	等の抽出ということで、今回STACYについてはプラスワンⅡⅢのものすべてを安全機能を有する者。
1:20:07	対象にしております。重大事故対象設備ってのは当然stage1にありませんので、そういったものになります。
1:20:18	続いて支店着眼点ですけども。
1:20:33	はいまず、この中でローマ数字1については評価対象とは聞きたいし、構造物すべてを抽出する手順を確立しているか。
1:20:43	こちらについては設工認申請書のを、
1:20:47	いわゆる整理表から機器を抽出して今回評価対象。
1:20:52	に選定しておりますというところでやってると思います。
1:20:56	余って両括弧2も同じですね。
1:21:00	うん。経営続いてローマ数字3、3、
1:21:10	を購入して、こちらの特性を考慮して評価しておりますんでやっているといえると思います。ちょっと説明、ちょっとストップですはい。
1:21:22	久保会長ちょっと待ってください。広岡。
1:21:29	ここ。
1:21:36	はい。これです。
1:21:44	開設後、
1:23:12	規制庁カネコですお答えしました。今の松井さんのところなんですけども、野元さんじゃないか。
1:23:20	ステージの場合は、高温高圧の環境にあるのいかんを問わず、クラスⅢ機器についてもすべて評価対象とし、何かしらの評価を行っているっていうそういう理解でよろしいんですけど。
1:23:34	はい。原価牽制しです。そうですSTACYについては高圧という環境がそもそも存在しませんので、クラス3についてすべての機器について評価をしているというものになります。
1:23:48	なるほど。ちょっと軽水炉の評価をもうちょっと詳しく見る必要あるんですけども、どうやら軽水炉はクラスⅢは、
1:23:57	高温高圧下の環境下にあるものだけをやって、そんなに厳しい環境にない薬はやってない可能性があります根井中出ステージの場合はクラスⅢであっても別にそういう環境に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:11	が厳しいかどうかを以下事は全部、対象にしてるってそういうことでよろしいですよ ね。
1:24:16	はい、よろしいです。はい。布施氏の場合は大体がクラス3の方でクラス2って いうとごく一部の原子炉停止系とかに限られてしまいますので、クラス2クラス3問 わず、すべての機器を対象に評価をしているというものになります。はい、わかり ました。
1:24:32	薄謝④行きますか。
1:24:35	ここ④です。
1:24:40	方はどうですかね。
1:24:45	結局、
1:24:48	さっき報議論は、
1:24:55	これも新海原価牽制しないんですけども、これは発電炉の場合わあ、消耗品とか 取り、定期取替品について何か抽出して、適切であるかどうかを審査しているって いう。
1:25:10	ことなんでしょうかね精神の場合は、各設備について評価してですね、こういっ たものはこういう消耗品を交換しているとか、総合評価して健全性を維持してい る。
1:25:23	いうことで確認をしているというものになりますね。なので、その抽出とかっていう ことをしてないということになりますかね。
1:25:34	規制庁金子です。その抽出方法って何ぞやについてなんですけど、視点着眼点 のところを見ていただくを書いてあるように、消耗品定期取替品の定義が明確にし ています。
1:25:45	なので部品、全体のうち、これは消耗品ですよ、これは取りかえ品ですよって いうふうに最初から識別してあるっていうふうなので、識別してありますか。
1:25:57	というそういう理解で。
1:26:09	わかる。
1:26:12	結局、
1:26:15	というようなメール、
1:26:22	言語牽制し石ですけども、一部についてはこれは消耗品と違って識別してるもの もありますし、一部については試験検査によって、
1:26:33	必要に応じて交換するというものもあるというのが実情になります。
1:26:40	そうすると、消耗品とケーキですね、定期取替品の定義は、そんなに明確ではな いというそういうことでもいいですかね。
1:26:51	はい、そうなります。はい。はい、わかりました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:57	ということは2、3分ないね。そうですね、わかりました四番現状わかりました。だから駄目だっつってるじゃないすかね。はい。実は理解しました。はい。⑤番お願いします。はい。
1:27:13	うん。
1:27:15	そう。
1:27:22	⑤はいかがですか。
1:27:26	ちょっと視点着眼点の方も見てたほうがよろしいですかね。
1:27:32	ちよつとごめんなさい。ちつちやくちよつとちつちやくなって申し訳ないんですけど、ここまでですかね。
1:27:43	我々、
1:28:03	進学ACCですけどもSTACYの場合は特にその部位を分割しているというものはなくてですね機器全体を見て試験検査をしますので、
1:28:15	DというふうにごういったVM分割というのは実施しておりません。ふうん。
1:28:24	じゃあもう0ご自身はすべてやっていないってことですかね。
1:28:30	はい。そうですね非常用発電機だとかそういった、建屋だとかそういったものもありますけどそういったものに対してそれぞれの劣化事象を考慮して
1:28:44	評価をしているというものになります特に部位で分けてるとかっていうのはないというものになります。
1:28:51	わかりました。次⑥行きたいと思います。
1:28:57	2⑥動的機器部位の抽出ですけれども、そうする等を、こちらについても同様ですかね。
1:29:06	ちょっと見てやってどうですか。
1:29:15	OPてったら、チーズだけです。
1:29:19	推進中ですね。
1:29:25	場合はこちらもそうですね特に動的機器だから抽出するだとか、動的機器のある部分を評価対象外としてるとか、そういった選別はしてませんので6号特に該当なしかと思います。
1:29:39	横、該当なしです。
1:29:45	まず部位での抽出っていうものはやっていないので、⑤⑥はなしってことですね。
1:29:54	はい。STACY相田です。今のところで、ここに書いてあります動的機器を評価対象外としてる場合という、
1:30:04	条件が入ってますけれども、シーエーシーの方はその動的機器もすべて入ってます。評価対象としておりますので、そういったことから、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:17	これに当てはまるものはないと考えます。要するに部位ごとでやってるっていうよりはもう動的チーに関しては除外する形ではなく入れ込む形で今回評価をやってるっていうふうに理解しましたけど。
1:30:31	それでいいです。おっしゃる通り。おっしゃる通りです。はい、わかりました。
1:30:37	そうしましたら次⑦の使用材料及び環境の同定のところはいかがですかね。まず掘主幹。
1:30:49	こちらはですねちょっと部位単位の類単位。
1:30:59	はい原価形成CCですけど部位単位の使用材料とか環境を踏まえてと。
1:31:04	いうふうに書いてありますけどその部位単位に細かく選別はしてませんけども機器の仕様ごとにですね使用環境ごとに、材料とかその置かれてる環境を考慮して、
1:31:19	評価をしているということでは、概ねこの通りかなと思います。試験着眼点にも書いてあります通りは圧力とか温度環境を考慮してというのがございますんで、
1:31:32	はい。
1:31:35	ローマ数字 1 には行っているっていう理解でよろしいですか。
1:31:40	そうですね。
1:31:42	わかりました。ちょっと繰り返しですけど、部位、
1:31:46	部位単位ではやっていないので、⑤のですね乳構造物能部位への分割それとあと動的機器の部位の抽出、こちらの方はやっていなくて、動的機器も対象にしていますと。
1:32:02	それで⑦の主要材料の部位退院の使用材料って、部位単位ではやっていないのでここはやっていないんですけど環境を踏まえたものでこちらの方は、やっているっていうふうに理解しましたがそれでよろしいですかね。
1:32:18	はい言語結成しです。はい。そのご理解で間違いありません。はい。
1:32:23	そうしましたら部位は置いといて、次に⑧の経年劣化の事象の抽出のところですね、こちらいかがですかね。
1:32:33	はい原価厳正真摯ですけどこちらもはいターン類単位というのは置いといてえた評価対象の機器について経年劣化事象を抽出していると、いうことは間違いなくやってございますんで大丈夫かと思えます。
1:32:50	そこの、規制庁兼子です。この経年劣化の事象の抽出はしているんでしょうけど、抽出の手順、
1:32:59	そして、水環境や材料に応じて発生しているかまたは発生が否定できないすべての形劣化事象を抽出するっていうのがこんなような手順でやられてるんですか。
1:33:14	はい。こちらについては評価報告書の中でどういったものを、
1:33:20	経年劣化事象とするかというのを書いてございますんで

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:26	設計上考慮される経年劣化事象を抽出して評価を実施しております。
1:33:33	設計上、すいません評価章まだ隅々まで生まれや読むことできないんですけど、設計上考慮している、その経年劣化事象の設計上考慮するっていうのは、
1:33:45	具体的にはどういうことなんでしょうか。
1:33:52	大瀬市会田です。
1:33:54	ステージのステートや機器がですねどういった部材からできていて、どういった使い方をするか、静的なのか動的なのかと。
1:34:05	今、動的もすべて対象にはしてるんですけども。
1:34:10	金属でしたら脆化や腐食変形とか、そういったものが
1:34:17	変化事象として考えられますし、振動があるものであれば、部品の劣化や摩耗、
1:34:24	そういった材料ですとか使い方を考慮して、期初抽出していると、そういう意味でございます。そうするとやはりその環境に応じてそこで使うと、劣化が発生する可能性が、
1:34:38	ある、あるかとか、発生するのとか、今こそ、マーキングしたところみたいな意味合いで抽出してるっていうことでいいんですよ多分ね。
1:34:52	はい。はいそのご理解の通りです。うん。はい。
1:34:59	ちょっとここはどうですか。
1:35:02	地域のための手順を笹野。
1:35:06	手順がある。
1:35:08	手順というステーション移動です手順という手順書ですとか要領書という類ではないんですけども、その定年す。
1:35:17	どっかの計画書の中ですね、どういった場合、スクリーニングしてるかと先ほどのフローにもございます通り、
1:35:27	そういった
1:35:30	まずは最初は
1:35:32	すべての事象を、
1:35:34	対象として、
1:35:36	徐々に新設であれば部ですとか、
1:35:42	保全でカバーできるかどうかとか、そういったプーリングしたりっていうことは、しておりますので、これまでちょっとあのですねマーキングしてる所をきちんと読んで欲しいんですけど、評価対象の話じゃなくて、
1:35:57	ここで言うの経年劣化事象を抽出する手順として、そういうものを定めていますかっていうことなんですけども。
1:36:09	評価対象の話じゃないですよ。あくまで経年劣化事象を抽出するために基準を確立しているか否かについて回答してもらえればと思うんですが。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:32	はい。私会沢です。失礼しましたその手順というものは一般的に言うところとございません。
1:36:43	わかりましたじゃここはないなあ。うん。手順に基づいたこれもないっていうことですね。
1:36:52	一定の考え方はあるにしろ、基準までは、規制庁金子です。手順まではいかないにしろ、こういったものを経年劣化事象として抽出するかっていう考え方みたいのがあるっていう、そんな感じですかね。
1:37:11	昔から、
1:37:18	考え方についてはございます基本的な方針として安全機能を有するものはすべて対象にするというようなそういった、少し振りとした。
1:37:30	考え方ではありますけれども、所長は、すみませんあくまでごめんなさいね。評価対象の話じゃなくて、経年劣化事象のことにちょっと説明を絞ってですすね、失礼しました。
1:37:48	経年化の事象の抽出ということでもう、今申し上げたように設計上考慮している実証。
1:37:56	知見出られている実証。
1:38:00	最近の最新知見の実証、あとは事故故障の経年変化事象といったそういった考え方がございます。またこれ手順というほどのものではございません。
1:38:13	規制庁加来です。今、一番最初に申しおっしゃってた、設計上考慮する事象っていうのは誰がどのように設定するんですか。
1:38:24	これはこの評価方法、評価にあたっての計画書を定めるというふうに申し上げましたけれども、
1:38:31	計画書に定めております。おそらく、設計上考慮する事象ということは、設置するにあたって、考慮すべき事象としてもうすでにその計画書を作る前に設定されてるんじゃないかと思うんですけどそういうものではないんですか。
1:38:55	難しい。
1:39:03	厳正紳士ですけど当然設計する段階で腐食とか摩耗とかそういったものを考えて設計はしているんですけども、それが明文化されてるかっていうとそれから明文化されてるところまでではないというのが実情です。
1:39:21	そうすると設計上考慮する事象と称してはいるけども、この高経年化を評価する時に始めて、明文化するんですか。
1:39:32	はい。ちょっとそうですね今回後年高経年化評価するにあたってこういった事象を考慮し、そうですね評価すると。
1:39:42	いうことになろうかと思えます。わかりました。この計画書を作るにあたってどういったものを経年化事象として決定するのかねっていうのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:54	手順はないんですね。具体的にはどうやるかっていう盗掘。
1:39:59	それはですね手順で明文化されたものはないんですけども、文科省の事務連絡だとか過去の原研の他施設の、
1:40:10	合計年間の評価、実績、こういったものを参考に、
1:40:15	改めて経年劣化事象を選定するというものになります。
1:40:26	はい、わかりましたちょっとすいません。
1:40:59	規制庁の加藤です。次に行きたいと思います。⑨ですが、これ経年劣化事象に対する抽出、評価点の抽出ということで、これ、これはいかがですかね。
1:41:16	1月でしょうか。いつ誰がどのような集積、評価をした結果、PSRの評価、厳正ししですけどこちらについても特に評価点を部位ごとに抽出すると。
1:41:33	いう作業を行っておりません。機器全体で見て腐食だとか儘田とか、そういったものがあるかないかというのを評価してございます。
1:41:45	特段この部位っていうのが、例えば
1:41:52	一番消耗するところだからここを確認しようかっていうそういうものはないっていうことなんですか。
1:42:07	先般、
1:42:17	原稿編成ですけども基本的に機器とかは分解点検とかして全体的に摩耗とか早朝がないことは確認しています。
1:42:29	強いて言うならば基礎ボルトとか、基礎ボルトも全体見てますんで。うん。そうですね。
1:42:40	保険そうですね評価点を部位ごとに抽出してっていうのは該当がないというふうに認識はしております。わかりました。ちょっと確認なんですけれど、それはあれですよおそらく。
1:42:53	この部位で特別、腐食や浸食が起こるようなそういう環境ではなくて、どっか特別見なきゃいけないポイントはないような環境にあるから、
1:43:07	特に評価点を定めていないっていう理解でいいんですか。
1:43:11	そうですね。
1:43:15	そうですね。はい。
1:43:19	うん。わかりました。要するにここで言っている、経年劣化事象として特別ある部位が劣化が激しいとかそういう事象が挙げられていないので全体を見ていれば評価できるっていうそういうふうに理解しましたがそれでよろしいですか。
1:43:38	はい言語牽制CCですけども基本的にははいstageの機器はもう建屋外の換気空調でそういった環境に置かれてますんで特に。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:49	環境が厳しいとか、そういったものはありませんので、はい。特段、評価部位を抽出するとかっていうことも思っておりません。わかりましたそうすると⑨はしていないってということですね。
1:44:04	次ちょっと院長。
1:44:06	次に⑩に行きたいと思います。
1:44:11	ここは経年劣化事象の発生進展の評価ですけど、同については、
1:44:19	ここはもう今回限られてはいますけれど、事象の発生または進展評価っていうのを実施しているってということでよろしいですか。
1:44:31	はいこちらについてはこの視点着眼点に書かれているもの中性子照射の脆化だとか、ああいうものとコンクリートの劣化度低下、こういったものは真剣評価までしてますんで十分はやっていると、実施していると。
1:44:48	いうことで問題ないと思います。終わりました、そうです。
1:44:57	俺、これとこれとこれをやってるんですね。
1:45:01	この二つ。
1:45:04	お願いします。今おっしゃってた中堅事業者成果等、コンクリート強度っていうか、遮へい能力の低下って、
1:45:13	どっか表示、どっか評価点を置いてるんじゃないですか。
1:45:17	全体見るって言ってもこれ分解点検もできないし、
1:45:21	例えば中性子が、戯曲的他と比べて当たりやすい強く語ってるところとか、コンクリートであれば、接合部とか、例えば応力が強くかかるところとか、そこに評価点を置いて、
1:45:38	確認をしてるってそういうことはないんですか。
1:45:47	はい厳正紳士です。はい。確かにごめんなさい。おっしゃる通りコンクリートの劣化評価は中性子が一番当たり露出のコンクリートでちょっと違います。
1:46:00	それで照射脆化はいつですか。中性子小わあ率の評価は、
1:46:40	はい。言語血清ccですけども、金子調整官おっしゃる通り中性子の照射脆化については、炉心タンクに一番近いところにコンクリートがあると仮定してコンクリートの、
1:46:54	劣化とかっていうのを見てますんでそういった意味ではごめんなさい9番の評価点の抽出しても、一部実施しているということになる。
1:47:05	なり、なるかもしれません。
1:47:08	だから、規制庁兼子です。だから経年劣化事象の発生または進展を考慮して評価が厳しくなる箇所っていうのは、まさに今炉心タンク近傍の中性子が強く当たるところということで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:24	厳密に全部やってるかどうかを行って一部は抽出してるっていいんじゃないかと思いますね。はい、申し訳ありませんはいそのご理解で間違いありません。はい。
1:47:35	そうしたときに、このローマ数字とかどうですか。
1:47:45	安易については経年劣化事象の発生と進展傾向を明示してますんでこれはやっております。
1:47:57	ローマ数字 2 もはいニューシャ等の国内外の知見を反映してますんでこちら概ね実施していると。
1:48:06	ということで
1:48:08	はい。劣化事象についても最新の劣化情報とか入れてやってますんで、やってるということで、問題ないかと思います。はい。Noの数字さんは
1:48:28	こちらに追加少々お待ちください。
1:48:40	はい。黒田辻さんについては日常劣化というところで、STACYについては日常で劣化するというそういう急激な劣化はございませんのでこういったものはやってないというふうに理解しております。
1:48:58	規制庁の加藤です。例えばね、なんですけど、月円形高速艇とかって、何かこういうのに当たるんじゃないんですか。
1:49:08	縮まっちゃう。
1:49:26	もう限界や精神なんですけども、絶縁抵抗については当然、定期的に年 1 回とかの頻度でやっておりますけどもこの日常っていうほど、
1:49:37	頻度が高くないのかなというふうには思っています。
1:49:43	気象これじゃ日常的ではないけれど、こういうものに対しては、
1:49:54	特性変化を、
1:49:57	法を考慮して、劣化管理が行われているということが明確にされているかっていうところはどうですか。ちょっと日常的っていうのを置いたとしたら、
1:50:08	日常的ということを置けばですね先ほどの絶縁抵抗ですとか、あと溶液燃料貯蔵設備の腐食状況とかこちら半期に 1 回、預金量サンプリングして、
1:50:21	タンクの腐食しろとか評価してますんで、定期的にということに関してはやっているというふうにいえると思います。
1:50:32	わかりました。そうでしたら次いきたいと思います。
1:50:41	大変っす。ちょっとこれになんかおつきいちょっと上からいきましようね。
1:50:49	これ経年化対策上着目すべき経年劣化事象の抽出っていうふうになっていて、ちょっとですねこの、
1:51:00	着目すべき経年劣化の事象っていうのが何なのかっていうのを説明すると、こちらの、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:10	右の米印にが、着目すべき経年劣化事象っていうふうになってます。ちょっと読み上げさせていただきますと、前年に伴い、機器構造物に、
1:51:23	性能低下を生じさせる事象を経年劣化事象とし、これによる性能低下が、機器構造物の長期間の供用に伴い、①、
1:51:36	急速に進展する。②で発言頻度が高まる。
1:51:41	これまで、性能低下の発現が面的量的に高まる状態、③新たに健全顕在化するなど、性能低下の予測からの会議の発生が否定できない経年劣化事象、
1:51:59	いうふうに定義がされているんですが、
1:52:03	これに対する、その抽出についてがこの項目になっています。
1:52:10	ここについてはいかがですかね。
1:52:28	はい。
1:52:45	この現世CCですけども、ちょっと正確ではないかもしれないんですけど、パッと見こういったことは今ステージではやってないかなというふうには思っています。
1:52:59	規制庁の加藤です。ちょっとやっていないちゅうよりは経年劣化事象の
1:53:06	やはり起こりうるすべての経年劣化事象を上げていってそれをSTACYの環境に置き換えた時に、ここまで着目すべき経年劣化事象っていうものはないっていうことを確認しているっていうことなんじゃないかなと思うんですけどそうです。はい。先ほど加藤さんが読み上げてくれた。
1:53:26	物を出ます停止に該当するものはないかなという感じ。
1:53:31	思いました。
1:53:37	水間でももちろんここでは抽出しているかって抽出した結果ないっていうことをやっているっていうふうな理解でいいですかね。
1:53:49	はい。
1:53:52	規制庁兼子です。今ちょっとね、今後、要は、抽出してあれ、経年劣化事象が何か急激に進展したりね、予想から外れたりしてするやつは、
1:54:04	要注意だねっていうことでマーキングするっていうことなんでしょうけど、劣化傾向とか、そういったものっていうのは、指定市ではやるんですか。いや把握者にしますか。
1:54:22	少々お待ちください。
1:54:34	ボンボン
1:54:37	いわゆる岩種は劣化傾向という意味ではEDGの起動時間だとかあとフィルターの補修効率、あと先ほど言った、タンクの腐食の劣化傾向、劣化が腐食、
1:54:52	具合ですね、そういったものは状態監視をしているものがございます。
1:54:59	うん。一番わかりやすいね今のタンクの腐食傾向だと思いますけど、それが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:06	年にどのぐらいするとかいう、いう、ある程度の傾向を示しておいて、予想より腐食が早くなってくるとか、予想より腐食が遅いね、進展が遅いねとかそういう評価みたいのも、
1:55:19	保全活動の中でやられているということですか。
1:55:23	はい。それはやっておりますね。
1:55:28	なるほど。じゃあ、いいわ。
1:55:31	やってんだな。
1:55:32	へえ。そういうことではこの位についてはそうですね。そうですね。はい。
1:55:41	で、口。
1:55:47	どうもはい
1:55:51	これ現在までの運転経験やってこれまでの傾向と違う傾向を示したとかっていうのはデータ取りをしますんで概ねやっていると。
1:56:01	いうふうには考えられると思います。そうっすね。ハワイっすね。川井河合です。
1:56:08	羽場さん入れ、
1:56:09	はい。
1:56:10	それには、
1:56:20	第 2 番。
1:56:23	うん。
1:56:25	んじゃないかな。大筋にはここまで明確に書いてないですかね。特に着目しないとした理由はそれは、着目する理由がなかったからってということなんでしょうか。
1:56:38	そういう理解でいいですか。
1:56:41	はい。そうですね。はい。
1:56:44	はい。はい。
1:56:51	こんな、このローマ数字 3 みたいなものって何かやっています。
1:57:00	はいこちらについてはですね先ほどちょっと少し申し上げた状態監視しているものが幾つかありますけどもそういったもので乖離する恐れがある場合は、
1:57:13	保守的に評価するといったことも、
1:57:18	そういった場合はあり、不必要に必要なに応じてとかそういう事情が確認されれば保守的に評価するということはやっているかと思えます。
1:57:29	はい。はい。
1:57:31	次に⑫健全性の評価なんですけれど、ここで言ってるのはね、ですねあくまで着目すべき定年劣化事象による等をこういう評価を行っているかっていうことで、
1:57:47	着目すべき経年劣化事象今規定しないっていうことでここは対象外っていうことでよろしいですかね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:55	そうですね。はい。そしたら次 13 にいきたいと思います。こちらにつきましても着目すべき経年劣化事象によって、こういうのが評価されているってということなんで。
1:58:10	こちらについても対象外ですかね。
1:58:18	そしたら切りたいと思います。それで、⑭のですね、追加の保全策の抽出なんですけど、今回結果的にはSTACYにおいてはですね、追加の保全対策はなしという結果を出していますので、ここはなしって理解でよろしいですか。
1:58:38	はい。こちらについてははい現状の保全状態を評価して結果的に追加の保全策の抽出はなかったというものになります。この追加保全策の抽出受の行為自体をやってるんです。
1:58:52	抽出はそうですね、抽出の効率でやってるけども、結果的に抽出されたものがなかったということだそうです。だから一応、これは入ってるっていう感じ。
1:59:02	そうするとじゃあこれらがフローの中には一応入っているっていう理解でいいですかね。
1:59:08	はい。いいです。はい。
1:59:10	なので 13 番の現状ホテルの評価も、うん。
1:59:16	はい。
1:59:19	着目すべき経年劣化事象があったら、評価するけど。うん。これからやらないっていうことは、そうですね。
1:59:25	かどうかって確認して、はいはいはいはい。
1:59:29	着目すべき。
1:59:35	いいですよ。
1:59:38	助教。
1:59:40	40、15、15 はこれ村瀬の確認なんですよ。それでここ 151617 って飛ばしちゃっていいですか。
1:59:49	はい。
1:59:51	全部の機器や、
2:01:11	規制庁の加藤です。次にですね 18-1、耐震安全性の評価となる経年劣化事象の抽出ってところがありまして、
2:01:23	ここはいかがですね、カネコの。今マーキングしたところなんですけど、直接基礎ボルトなんかなんですよ。僕ある意味、建屋の鉄筋コンクリートとかですね、そういうところが他のところへちょっと対象になっているんですが、
2:01:41	はい文献精神ですけどもこちらははいおっしゃる通りコンクリートの中性化とか鉄筋コンクリート製の強度評価とかやってますし、鬼頭基礎ボルトの腐食状況とかも確認しておりますんで。
2:01:55	こちらはやっているということで問題ないと思います。わかりました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:02:05	後は、
2:02:06	牧草表かなあ。
2:02:10	ここはさっきと一緒になんですよね。うん。いや、夏目ここは津波の規制庁の加藤です。そう。対津波の危機っていうのはないっていう理解でよろしいんですよね。
2:02:25	はい。性質については津波対策の機器はありませんのでそもそもが対象外というものになります。はい、わかりました。29-1としてですね、ここはですね耐震安全上の。
2:02:38	着目すべき経年劣化事象の抽出として、
2:02:42	ここについては、全く先ほどと抽出の手順が一緒っていうことでよろしいですかね。
2:02:50	等ですね。はい。熊谷一色結局はそういう着目すべき経年劣化事象はないっていう結果になっていると。
2:03:03	はい。はい。次 19-2 はこれ津波なので飛ばしますと、それで引き 20-1、耐震安全性の評価として、
2:03:16	期間は 2a。
2:03:21	評価しているかっていうことで、
2:03:25	例えば、
2:03:26	はい。原価牽制し、石井ですけどもこちらの鉄筋コンクリート製の強度評価して、今後の十年間でどこまで進展が進むかというのを評価していますので、こちらについては実施していると。
2:03:41	ということで問題ないと思います。郡古井久慈菅生。
2:03:46	ちょっとここ、ここまでの評価はやってないんじゃないかなと思ってんですけど、このローマ辻野さんどうですかね。
2:03:56	本当。
2:03:58	これ発信、結局多分少し化が進んだ状態で、耐震評価をやって本当に大丈夫かっていうとか。
2:04:11	原価牽制しです。確かにおっしゃる通り、ローマ数字 3 はやってないですね。これはあくまで抽選日経過とか、建屋の健全性については確認しているんだけど。
2:04:28	それ以上の劣化状況を考慮した耐震評価としては行ってないっていうふうに理解をしているんですけどそれであって、麻生です申し訳ないですそうですね配劣化状態を考慮した耐震評価というそこまではやってないですねうん。郡もしと。
2:04:46	次に 12 月並みだと、これで 21 号を 1 として耐震安全上の現状の保険の評価、これはどうですかね。
2:05:00	結果をもとになるのでそこまでないよっていうことで一応健全性は確認しているんですね特に変える必要がないっていう形で評価しているということですかね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:14	はい、おっしゃる通り現状の保全状態で特に問題はないというふうに評価しておりますので。はい。
2:05:23	はい。妥当性は評価はしているというものになろうかと思えます。
2:05:28	具体的にはどうやられておりますか。
2:05:39	建屋につい等、
2:05:55	の家庭の外観とか先ほど言った基礎ボルトの外観点検を年1回の点検で確認して、腐食がないとかそういったものを確認しておりますので、
2:06:07	それをもって機器が健全性を維持しているということが確認できますんで、点検頻度を点検方法が妥当であるというふうにはいえるとは思えます。
2:06:22	だから評価の評価で健全性が確認できてるんで、点検頻度もおそらく変えなくていいよっていう、あるし、
2:06:35	予防保全対策も特に必要もないよと。
2:06:39	それで補修取替実績を基にということなので、ここについては2012年13年に対して、震災のあと補修工事とかをやって行って、
2:06:53	そういうことも考慮してますっていうことですか。
2:06:58	そうですねはい。渋谷。キャッシュ安全性評価ってなんじゃない。
2:07:02	耐震安全性評価ってのは、耐震安全性評価っていう関係にはやってないのかもしれないが一切なしなんですよ。なるほど。
2:07:15	なるほど。
2:07:18	耐震安全性評価を、そもそもやっていないので、ここももうなしっていうことなんですかね。規制庁金子です先ほどのご説明の中に耐震安全性評価自体をやっていないので、
2:07:32	その結果に基づく対応云々完了は実質空襲5になると思うんですけどそういう理解でいいですよ。
2:07:37	そうですね。はい、どうぞ出ますとは言えない。いや、この追加の保全策の話になるんじゃないよっていう話ですよ。ちょっとそんな湊。
2:07:49	それで2324ってですねちょっと評価フローにはないんですけど項目としては起きておまして、運転することができる期間の延長これ期間の延長だからいいのかな。
2:08:09	ここ、
2:08:10	23、
2:08:11	23
2:08:13	そう、中性子脆化、
2:08:18	はい。多分ここは確かに、運転期間の延長の話言ってるのかと思いますね。いないですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:29	そうしましたら次 24 に行きます。ここですな大規模 5 地震等による機器、構造物への直接の影響の考慮ってということで、
2:08:41	現に発生した、これ地震について、九鬼町の影響を踏まえた高経年化技術評価を行っているかっていうところはどうですかね。
2:08:53	僕は二、三日とは言ってないんですよ。
2:08:57	岸川会長。はい。疑問としては、3.11 の後に機器の健全性確認というのをすべてにやって、
2:09:09	はおります。
2:09:14	その結果も踏まえた高経年化技術評価、その後もですな点検とか検査を年 1 回の頻度で継続的に、
2:09:25	実施して特に問題ないことは確認。
2:09:29	してはおるんですけども、それが、それをもってこれが該当するのかどうかというのはちょっと今すぐには判断できないんですけども、そうです。
2:09:40	ここに審査する、ごめんなさい。これですな審査ガイドなので、行っているかどうかをうちらとして確認するそういう視点のものとなっておりますので、
2:09:55	あくまで今うちが確認しているのはこの内容この塗りつぶしのところですね。
2:10:09	今日は、わかりました。状況はわかりました。ちょっと少々お待ちください。はい。
2:10:41	はい規制庁金子です長時間にわたりありがとうございました。あくまでも STACY の長期施設管理方針のフローが、
2:10:52	いいのか悪いのかってちょっと判断根拠がなかったので、今回冒頭に申し上げた通り軽水炉のやり方との比較をしました。従いまして繰り返しますけども係数のやり方が、
2:11:04	何も生ではなくて、参考となるよりどころが、それしかなかったんで、それをちょっと比較して、STACY の状況も踏まえてですね、試験の状況も踏まえて、
2:11:14	グレーデットアプローチの考え方もありますので、何、CCO に寄せようという、そういうつもりは毛頭ありません。一つ性として、正として実際に運用されているやり方があるので、
2:11:26	その考え方で比較をするとそういうことだけですので、またその考え方に応じて必要に応じてですね、やっぱこれはこれはやったほうがいいんじゃないのっていうのがもしあればですね、審査会合の場。
2:11:40	どっかヒアリングの場で、指摘はいたしますけども、あくまでも軽水炉ありきであるそうでは全くないので、それだけのご承知おきくださいということです。
2:11:53	はい原価牽制し石です。はい補足解説していただきありがとうございます。内容については承知しております。どうもありがとうございます。はい。はいほかウェブから 3 課の方で何かございますでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:12:10	よろしいですか。
2:12:14	はい。そうでしたら本日のヒアリング以上にしたいと思います。ありがとうございました。
2:12:24	はい。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。